

安全祈願 米神山 山開き神事

佐田まちづくりだより

第127号



スマホでカラー版が見れます



三月一四日(日)、晴天に恵まれたこの日、本来なら三〇回めという記念すべき「米神山巨石祭」が盛大に挙行されるはずでした。しかし、終息することを知らない新型コロナウイルス

その影響を受け、昨年引き続き中止を余儀なくされました。神が宿る霊山、ここ米神山には県内外から登山を楽しむに来訪される方が多数おられます。

温かくなつてき、雨も続いたせいか少し見ない間にかなり伸びた草。



挨拶する大隈信彦委員長と参加者

巨石祭というイベントは出来ませんでした。山の神の鎮魂と安全を祈願する山開き神事を行いました。早朝より巨石祭実行委員会と女性部の方々が集まり、大隈信彦新実行委員長のおいさつ後、京石駐車場や京石周辺の草刈り、草取りなどの清掃を行い、その後女性部は佐田交差点の花壇の除草、実行委員は神事の準備に移行しました。



花壇の草取りに従事する女性部精鋭と神事の会場づくりに励む参加者の面々



しかし心配無用。女性陣の手に掛ければちよちよいのチヨイ、瞬く間に草が取り除かれていきました。とはいえ、九名もの方々が参加して下さったからこそ成しえたことですね。本当に感謝です。一方、京石の方でもしめ縄を巻いたり、会場周囲に縄を展張したりと着々と作業が進み、お供え物も並べられ、あとは神官さんの到着を待つのみ、と手際よく準備が完了しました。ちよつと準備が早く終わりましたか、と思っていざとところに神官さんが到着されました。どこかで作業の状況を見ていたのでは？と思うくらいに絶妙なタイミングでした。今回も準備に従事した方達だけで神事に臨み、米神山に来られ、登山をされる方々の安全を祈りました。皆様、ぜひ霊山「米神山」にお越しいただき、楽しいひと時をお過ごしください

これまで防災無線を利用して佐田地区の行事等をお知らせしてまいりました。しかし、四月から防災無線のシステムが宇佐市で一本化されることに伴い、地域を指定した(佐田地区のみ指定)放送が出来なくなります。たとえば、古紙回収で事前の水曜日と土曜日にお知らせの放送を流していたのがなくなります。このまち協だよりで、これまで通りお知らせしますので確認をお願いします。

注意

変わります

祈



安全登山 交通安全

3年間お疲れ様でした ありがとうございます

地域おこし協力隊 川端執詩隊員退任

かわ ばた あつ し

平成三〇年四月、京都府から宇佐市の地域おこし協力隊員として着任してこられ、佐田地区の担当となった川端執詩氏。

三月いっぱいをもって三年間の任期を終えることとなりました。

盆踊りでスカイランタンを飛ばそうと取組み、佐田小児童と一緒に幾多の失敗を重ね、当日は幻想的な佐田の夜空を醸し出してくれました。



失敗を重ねてもあきらめず飛ばしたスカイランタン。佐田の夜空が幻想的に

また敬老会では「くるみ座」の男優として所属し、水戸黄門の助っ人として遠山の金さん役で出場し、館内を笑いの渦に巻きこみ、みんなに元気を与えてくれました。



その他、放課後こども教室で児童のお世話をしてくれたり、佐田有志の会の一員として作業に従事し、まち協主体の行事等にも深くかわって下さり、地区民以上に佐田地区の人として活躍されました。

佐田地区の老若男女から親しまれた川端氏の退任、この日が来ることは分かっていたが、非常に残念な出来事です。

こうしてお伝えしていると、川端氏はどこか遠いところに行ってしまうようですが、とりあえず市内にとどまるみたいです。（計画は未定）我々としては何とか佐田の住人にと思っているのですが、まず住むところが。

急募

川端氏の

住むところ
空

仕事

※奥さ〜ん

本当にありがとうございます。今後ともヨロシク!!

新積載車配備完了



三月八日（月）第一部
久井田、矢崎、上ノ原
且尾、佐田上下、中村
大久保、熊を管轄
（大隈勇人部長）に新しい積載車と装備一式が配備されました。
平成三十一年三月の第二部以来の新規配備です。

当日は田中秀樹分団長をはじめ五名の団員が車両の受領及び装備資機材の説明を受け、宇佐市消防本部へ赴きました。

平成一二年に配備され、二十余年にわたり佐田地区の安全を守ってきた旧積載車はその任務を終え、引退となりました。

装備品は最新式となり団員の方々もいつでも使えるように訓練されることでしようが、使わないことが何よりです。

その火事を防ぐあなたに金メダル
火の用心!!

ここで、川端氏よりコメントが届いていますので紹介します



こんにちはー。 3/31まで協力隊の川端です。3年間はあるという間でした。それだけ皆様に良くしていただき、充実した期間でした。お世話になりました。ありがとうございました